

校長通信「学ばん共に」

その2 可美中の「目標と方針」(始業式式辞)

(2022/4/7)

今年度のスタートにあたり、可美中の「目標と方針」を私から3つ示します。内容は去年と同じですが、今日は一味違う感じで紹介します。(有志の先生方と歌う)…先生方御協力ありがとうございました。

あちらの横断幕を見てください。**方針1**「希望輝く 可美の学舎 夢を追いかけ 歩まん共に」このスローガンは、その横にある「笑顔のあいさつ・頑張ろう勉強!・頑張ろう部活!・進んで清掃、ボランティア!」を実行することで、さらに価値あるものになります。夢や目標に向かって自分の良さや可能性を大きく伸ばしてください。何事に対しても進んで取り組もうとする前向きな姿勢こそ、希望輝く可美中生の姿です。全校生徒383人が1つになって「可美の学舎」をこれまで以上により素晴らしいものにしてほしいと思います。夢・希望といえば、校長課題「夢レポ」。この紙です。今日、しっかり持ってきた人…流石可美中生です。担任の先生に提出してください。一人一人、じっくり読ませていただきます。

方針2はあちらです。可美中の伝統「感動ある行事」の成功です。3年生の京都奈良修学旅行、2年生の御殿場野外活動…コロナに負けず、是非行きたいですね。そして2大行事の文化発表会と体育大会を昨年度と同じように大成功に導いてほしいです。

方針3「仲間を大切にし、支え合う生徒」…これも大切な方針です。校訓に漢字一字「心」を掲げる可美中だからこそ、この方針を生徒全員が心の中にしっかりと持ってほしいと願っています。後輩から尊敬される、先輩から信頼される、同学年から慕われる生徒に、可美中生全員がなってほしいと思います。では、どうしたら仲間を大切にしたことになるのか…それは、いろいろな形があると思います。自分で考えて実行することも大切です。

でも、そのとりかかりとしては、まず「笑顔のあいさつ」「元気なあいさつ」を自分から進んでできる

人になることだと私は思います。今年度、そして来年度、この2年間、可美中と可美小は「あいさつ運動協力校」に、指名されました。「小さな親切」運動静岡県本部からの指名です。可美中は、以前にも「あいさつ運動協力校」に選ばれたことがあると聞きました。勉強・行事・部活に真剣に取り組む生徒が多い学校、地域との結びつきが強い学校、あいさつ運動を盛り上げて世の中を明るくできる学校に依頼されたものだと私は考えます。これを大きなチャンスととらえ、さらによいあいさつのできる可美中生になってほしいと願っています。以上が三つの方針です。「あいさつ運動協力校」になったことも合わせて、是非、心にとめておいてください。

新2年生は、中堅学年として「先輩」と呼ばれるようになります。この1年が勉強・部活動の基礎をつくる、とても大切な時期です。新3年生は最高学年です。勉強・部活動・生徒会活動・体育大会・文化発表会…全ての面で学校の中心としてこの可美中を飛躍させる学年です。年度末に行われた3年生を送る会で「3年生は私たちの目標です。」という言葉を聞きました。その3年生にみなさんはなったのです。可美中を背負う立場になったのです。それを忘れないでください。ひと月後には修学旅行、3か月後には部活動…最後の夏の大会、10か月後には高校受検です。気持ちが引き締まります。頼みます。

今日、午後に行われる入学式で、新入生135名を迎えます。そして、可美中学校としての新たなスタートをきります。「希望輝く可美の学舎」が示すように、この春、気持ちを新たに、新しい仲間との生活が、春風の中で始まります。とても素敵なことです。私は今朝、校舎によりそうように咲く葉桜を見て、そんなことを強く感じました。

最後になりますが、この1年、皆さんの心が1つになり、様々な困難を乗り越えられると私は信じています。「美しい心」・「絆」を大事にした、浜松で1番輝く学舎(まなびや)になることを心から願い、私の始業式の話とします。最後までしっかり聴いてくれて、ありがとうございました。

(可美中学校長 北村健治)